

平成9年度実施

●問い合わせ環境管理課へ内線633

大気など環境調査結果の概要



市では、大気や河川の水質などの環境調査を実施し、現状を把握するとともに、調査結果を環境保全の施策づくりなどの基礎的な資料としています。今回は、平成9年度に行った調査結果の概要をお知らせします。

●河川調査測定結果

河川名	BOD	環境基準
入間川	1.6mg/l	3mg/l以下
不老川	11.1mg/l	10mg/l以下

各測定結果と公害苦情件数

入間川と不老川で、生物学的酸素要求量(BOD)などの調査を行いました。結果は入間川、不老川とも昨年、一昨年と比べると、ややBODの値が低下していますが、最近数年間の経年変化でみると、顕著な変化はありませんでした。市では流域の住民の皆さんや河川浄化団体などの協力を得て、引き続き水質の浄化対策に取り組んでいきたいと考えています。

大気について

自動車排気ガスの影響を調べるために、入曽交差点付近において二酸化窒素と浮遊粒子状物質の測定を行いました。結果は入間川、不老川とも昨年、一昨年と比べると、ややBODの値が低下していますが、最近数年間の経年変化でみると、顕著な変化はありませんでした。市では流域の住民の皆さんや河川浄化団体などの協力を得て、引き続き水質の浄化対策に取り組んでいきたいと考えています。

●大気調査測定結果

測定項目	測定値	環境基準
二酸化窒素	0.04ppm	0.04ppm~0.06ppm
浮遊粒子状物質	0.06mg/m³	0.10mg/m³以下

●道路交通騒音調査測定結果

測定場所	騒音レベル(dB)				環境基準(dB)			
	朝	昼	夕	夜	朝	昼	夕	夜
国道16号	73	73	73	71	55	60	55	50
県道所沢狭山線	64	65	65	58	50	55	50	45

●公害苦情について

種類	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計
件数	33	2	19	0	9	13	76

河川について

入間川と不老川で、生物学的酸素要求量(BOD)などの調査を行いました。結果は入間川、不老川とも昨年、一昨年と比べると、ややBODの値が低下していますが、最近数年間の経年変化でみると、顕著な変化はありませんでした。市では流域の住民の皆さんや河川浄化団体などの協力を得て、引き続き水質の浄化対策に取り組んでいきたいと考えています。

道路交通騒音について

まことに、2月17日から10日間測定を行ったところ、二酸化窒素は0.04ppm、浮遊粒子状物質は0.06mg/m³でした。この結果は環境基準には適合するものですが、最近数年間の経年変化をみると、ほぼ横ばいであり、大気汚染の改善を図るために、今後さらに充実した対策をすすめることを求められています。

公害苦情について

大気汚染や騒音、悪臭などについて76件が寄せられました。この中で大気汚染特に焼却炉のばい煙に係わるもののが半数近くを占めています。これはダイオキシン問題への関心が高まつたことによるものと考えられます。また、騒音や悪臭に関する苦情は、その多くが日常生活の中から生じるもので、一人ひとりが隣近所に迷惑をかけないよう注意することが大切です。



写真左から、山田狭山市薬剤師会会長、名知狭山市医師会会長、町田市長、国中狭山市歯科医師会会長、山崎狭山市接骨師会会长、助産婦・伊深氏（マタニティルーム伊深）

市内5医療団体と
県内初!
応援協定を締結

医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、助産所と

災害時の医療救護活動についての協定を締結

7月21日(火)、狭山市地域防災計画に基づき、市と狭山市医師会、狭山市接骨師会、助産所の5団体が大規模災害発生における医療救護活動について、協定書を取り交わしました。協定書には緊急連絡網も盛り込まれ、災害時には医療班などの迅速な対応が行われることになります。

災害時の医療救護活動についての協定の概要

- 災害が発生した場合、市(災害対策本部)は医療5団体に対し、救護所などへ医療班などの派遣を要請します。
- 医療5団体からの医療班などは、救護所などで医療救護活動を行います。
- 医療5団体の災害時緊急連絡網により、情報伝達や情報収集を行います。
- 市から要請があつた場合、防災訓練に参加し、傷病者が発生したときの医療救護を担当します。

●問い合わせ
保健センターへ 0959-5811

この協定は、市の地域防災計画に基づいた救助部衛生医療班の業務に迅速に対応するため、「災害時の医療救護活動についての協定書」に災害時の緊急連絡網などを加えて、災害情報などを関係機関に円滑に伝達収集し、医療班などの派遣、救援活動についての協定書に災害時の緊急連絡網などを加えて、災害情報を定期的に交換や定期的な協議を重ね、万全を期すとともに、防災訓練時に緊急連絡網を活用した訓練を実施するなど、さらに内容の充実に努めています。



▲医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、助産所まで拡大した協定は県内初!